



日本洋書協会

JAPAN ASSOCIATION OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

JUNE 2018
REPORT MAGAZINE

会報誌 vol. 52 no. 4

Published by JAIP 1-1-13-4F, Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051

e-mail:office@jaip.jp

総会報告 2018年5月25日(金)

2018年度定時総会は5月25日(金)午後4時30分から国際文化会館(東京都港区)にて開催された。

〔出席状況〕 出席18社

委任状21社

計 39社

正会員43社に対して上記のとおり過半数の出席を得たので、協会定款第31条の規定に基づき本総会は成立した。

深町総務委員(トムソンライター)の司会・進行により開会し、正田事務局長より総会出席状況(上記)および2017年度の会員動向が報告された。

会員動向:

入会: 無し

退会:

(正会員) アカデミア洋書、クロニクルブックス・ジャパン (3月)

昨年の総会時に対し、正会員2社減の43社、賛助会員変わらず5社 計48社 個人会員2名

初めにグレスシャム理事長(MHM)から開会の挨拶・理事会報告及び各委員会の2017年度の活動報告が行われた。(一部資料での説明)

議案審議〔議長:グレスシャム理事長〕

【2017年度決算報告】

平野総務委員長(ユサコ)より2017年度の決算内容の説明があり、その後相澤監事(極東書店)より監査報告があった。精査の結果会計処理には問題はなかった。補足として財政状況の悪化が懸念される旨が報告された。採決の結果2017年度の決算は承認された。

【2018年度予算案】

平野総務委員長から内容の説明があった。全体としては前年度予算を踏襲しつつ、一部経費の削減を行い赤字とにならないよう組み立てた。その後、採決の結果2018年度予算は可決、承認された。

平野委員長から財政問題の今後の取り組みに付いて報告があった。現在までの総務委員会での討議では

1 存続を前提とする案として

1-1 外部委託による事務局費の圧縮

1-2 会員各社の協力による事務局費の圧縮(外部委託しない)

1-3 協会の目的を会員間の情報共有とコミュニケーションに絞り込み、会費を無料、活動費を実費とする

1-4 他の協会と合流する

2 存続を前提としない案として

2-1 解散する

今後他の方法を含め、アンケートやヒアリングで情報収集、討議、最終判断は理事会が行い、必要な場合は臨時総会を招集の上1月頃までに結論を出す。

以上ですべての議事を終了し、山川副理事長(ユサコ)の挨拶を以て2018年度定時総会を閉会した。

以上

会員代表者交代(敬称略)

5月25日付

丸善雄松堂株式会社

旧: 仲 光男

新: 河村 収

第1回シネマクラブ レポート

先日、日本洋書協会からシネマクラブ発足の報せが届きました。案内文書を開くと、「新旧の名作映画を、劇場の大きな画面で堪能」のコンセプトのもと、第1回の作品としてなんとエドワード・ヤン監督の2000年の遺作『ヤンヤン 夏の思い出』鑑賞会が企画されています。同監督の『牯嶺街（クーリンチェ）少年殺人事件』や『台北ストーリー』は昨年からのリバイバル上映を心待ちにしていた程好きなのですが、この作品は十数年前にVHSで観たきり、劇場では未見でしたのですぐに参加申し込みをしました。

エドワード・ヤンは、アン・リーやホウ・シャオシエン等と並び、世界的に非常に評価の高い台湾人映画監督の一人です。80年代から始まった、それまでのメロドラマ式の商業映画とは一線を画して、より現実社会のテーマを掘り下げた映画を製作する「台湾ニューシネマ」の潮流のなかに位置付けられる代表的な作家です。

『ヤンヤン 夏の思い出』は、台北のある家族の父・娘・息子にフォーカスした群像劇です。壮年期・青年期・幼年期の三つの世代それぞれの視点から、生と死と恋愛のモチーフが丁寧に描かれます。通常の娯楽映画とは違って、描かれる出来事が多いこと（三世代分）と描写が一見淡々としていること、それに3時間近い上映時間も相まって、初めて観る人には退屈に感じられたり、一風変わった演出に少し戸惑いを感じたりすることがあるかもしれません。映画として、それぞれの出来事をよりドラマティックな手法で見せることはいくらでも可能だろうとは思いますが、エドワード・ヤンはあくまでこの映画に登場する、とてもイノセントな魅力を放つ息子ヤンヤンが劇中繰り返し主張するような「人が見えていない真実を、少し違う角度で見せる」ことに徹して淡々と場面を繋ぎます。観客の感情を、普通とは違う角度からコントロールするようないびつな視点、例えば登場人物が感情を吐露するようなシーンでは、他の映画であれば顔のクローズアップ等の拡大された視点で見せるようなところを、ことごとくガラス越しのショットや極端な引きの画で提示します。その効果は抜群で、普通の映画を観ている時とは少し違った感情が次々に引き出されるようです。特に小難しい見方をしなくとも、ヤンヤンのかわいい無邪気さや、日本人天才ゲームクリエイターとして登場するイッセー尾形の、演技に見えないほど魅力あふれる人物像、「THE 熱海」という感じの（ちょっと下卑た）熱海描写など、純粋に楽しめるポイントがたくさん詰まっています。今回鑑賞し終えて、とくに恋愛関



館内ポスターとたくさんの映画評の切り抜き

連の出来事については20代前半の初見時とはかなり異なる感想を持ちました。人生の様々なステージで多種多様に感じられる出来事が、三世代の主人公の視点を通してとにかく随所に散りばめられているので、何度観ても、その時々観客の年齢や経験によってたくさんの異なる発見がある構造になっています。10年おきくらいに鑑賞し直してみる価値が十分にあるのではないのでしょうか。

新宿K'sシネマでの映画鑑賞後の懇親会もとても楽しく、懐かしい映画談義に花が咲きました（次は懇親会の時間をもう少し確保しましょう）。次回のセレクションは、とにかく劇場で観るというコンセプトで、東京は古今東西の映画がきちんと劇場でかかる幸福な都市のひとつですし、いわゆる名作以外のものもまた楽しいと思います。懇親会でも話題が上がった80年代青春もの、ホラー、カンフーもの、ミュージカルなど、今後に期待が膨らみます。次回はより多くの会員の皆様とお会いできることを楽しみにしています。いやあ映画って、本当にいいもんですね。それでは次回まで、サヨナラ、サヨナラ、サヨナラ。

Taylor & Francis 松川 陽野介

わたしの職場

リレー連載 ● 第3回

— ユサコ株式会社 営業グループの仕事紹介 —

私がユサコに入社したのは7年前のことです。前職では、辞書や事典を作る国内の出版社で営業をしておりました。その当時は大手書店の店舗で委託注文をもらい、全国の図書館に重い本を持ち込んで「見計らい」という名の即売会をしておりました。

まれに書店の外商さんが「外国雑誌の見積りが大変で…」と話していたのを当時は他人事のように聞いておりましたが、まさか自分が同じ苦労を味わうとは思いませんでした。

私も現在は、外国雑誌やデータベースの紹介・見積・納品を、全国の大学や企業・研究所に対して行っております。とはいえ弊社で扱う雑誌はオンラインで提供されているため、前職とは異なり、重い本をお客様のところへ持ち込んだり発送したりという苦労はありません。トライアルの手続きや接続確認といったネット関連業務が中心で腰に優しく、目には厳しい日々を送っております。

また研究に役立つソフトウェアの営業にも注力しており、月に1、2回は研究者個人を対象にした講習会を全国各地で実施しています。以前は北海道と沖縄の営業エリアを担当していたこともあり、札幌で雪に埋もれた翌週に、那覇で汗だくになるという出張をしたこともありました。

ユサコに入社して驚いたのはその意思決定と実行スピードの速さです。社員は80名ほどと決して多くはないのですが、そのコンパクトさを生かし、市場のニーズをいち早く掴み、それに適した商品を探し出し、お客様に紹介するスピードには自社ながら驚くことがあります。68年という歴史を持ちながらも変化をいとわない社風が全体にあります。

そういったスピード重視の考えは末端まで行き届いており、お客様へのレスポンスはなるべく早くという意識が私を含め社員一人ひとりに浸透しています。例えば、電子ジャーナルではシステム障害などで一時的にコンテンツを閲覧できないということがまれにあるのですが、その際には非常に気を揉むことになります。通常であれば、出版社に問題を報告するとすぐに解消されるのですが、海外の出版社がクリスマス休暇に入っ

ている時期などはレスポンスが遅くなり、お客様にお待ちいただくことになります。入社1年目のときにはその認識が甘く、新規で導入いただいた製品の設定がなかなか完了せず、お客様から何度も催促されてしまったことがありました。結局、12月27

日に設定が完了し、事なきを得たのですが、それが弊社の仕事納めの日で、肝を冷やしたことを覚えております。せっかく私を信頼して購入いただいたお客様に無用な心配をおかけしてしまったことは非常に悔いが残りましたが、次年度以降は海外のスケジュールに合わせて早めに設定依頼するように心がけるようになりました。そのご導入いただいた製品もその後フォローアップしたところ利用状況が良く、有用に使っていただけているようで安堵しました。

日本の科学力低下が叫ばれる昨今ですが、こうして科学者の方々にとって有用な製品をご案内し、滞りなく利用していただくことで、微力ながらも科学技術の発展に貢献できることに誇りを持っています。

プライベートでは3人の娘を持つ父であり、上から10歳、7歳、2歳の育児でんやわんやで、趣味を楽しむ時間はあまりないのですが、休日は家族へ料理を作る時間がいい気分転換になっています。私の3人の娘が病気になったとき、私は医師ではないので彼女たちを治すことはできませんが、私がお客様にご紹介した商品が医療関係者の一助となり、めぐりめぐって娘を助けるかもしれない。そのような矜持とやりがいをもって今後も日々の仕事に取り組んでいきたいと思っています。



ユサコ株式会社

営業部 営業グループ シニアセールス

原沢 竜太

我が社・わが街

第15回 早稲田

株式会社ワタナベ流通

渡辺 洋介

「妹が学校へ行き帰りに、戸山の原を通るのがいやだと言
いだしましてね・・・」というくだりが、夏目漱石の『三四郎』
にあります。現在は早稲田大学を始め、様々な住居が立ち
並ぶこの早稲田の地も、かつて戸山ヶ原（戸山の原）と言わ
れていた明治の当時は、女学生が通るのに憚られるほどの寂
寥とした原っぱだったようです。上記の『三四郎』だけでは
なく、漱石の小説からは早稲田周辺の地名が散見されます。
このことから分かる通り、漱石は生涯を通じて、この早稲田
周辺の地に縁の深い作家です。早稲田駅に近い出生の地は
夏目坂と呼ばれ、いまでも近くに住む人に親しまれており、晩
年も早稲田南町に居を構えておりました。それだけではなく、
漱石の奥様の実家や、イギリス留学から帰国後の居も、東西
線早稲田駅の一駅隣にある神楽坂周辺にありました。漱石を
育んだこの早稲田の地形をみてみると、戸山ヶ原を中心とし
る台地と、神田川が浸食する谷が交錯しており、それが独特
の立体感を与えています。

弊社の本社は、その台地側の端、副都心線西早稲田駅
と東西線早稲田駅の間にあります。これらの2つの駅、早稲
田駅と西早稲田駅の間は1kmほどしか離れていないです
が、標高差は10m以上あります。西早稲田駅は台地の
上、早稲田駅は谷の底にあるためです。そのため、弊社へ早稲
田駅から向かう場合、神田川の浸食作用によって作られた急
坂を登ることになります。戸山ヶ原が台地であることは、早稲
田駅から統計局に続くまた別の急坂を登った先にある箱根山
が、東京23区の最高峰（44.6m）であることから分かります。

ただ、箱根山は、山と言っても自然にできたものではなく、
かつて尾張徳川藩邸だったときに、藩邸の庭園に作られた人
工の築山です。

神田川の反対側の岸、目白側はさらに浸食が激しく、自然
の断崖となっているところもあります。その断崖を利用したの
が椿山荘の庭園です。訪れた方も多いかとは思いますが、自然
にできた断崖を用い、効果的に滝を配した立体感のある庭
園となっており、見る人々を楽しませます。桜の花のシーズンに、
椿山荘にほど近い江戸川橋から早稲田方面に神田川を眺め
ると、左岸は、高速道路の高架、右岸は、桜と椿山荘に連
なる断崖、という独特の構図の桜が見られます。橋を渡ると
急に桜の眺望が開けるため、足を止めて桜を見る通行人もい
るほどです。

同じく、神田川にかかる高戸橋付近の桜も、都電荒川線

が通る橋の両側を満開の桜が迎える構図が有名で、シー
ズンになると多くの鉄道写真愛好家がカメラを構えに訪れま
す。神田川の桜は、明治の昔でも有名だったようで、漱石が
花見に神田川を訪れたことを日記に記しているようです。

この近辺では、先ほど挙げさせて頂きました箱根山も花見
の名所として知られています。山頂を取り囲むように桜が植え
られており、山頂からは360度桜を見下ろすことができます。

この稿が掲載されるころには、残念ながら、桜は散ってしまっ
ていることでしょう。ただ、桜の花の折に、これら早稲田周辺
の桜のことを少しでも思い出していただければ幸いです。かつて
漱石も見上げていたかもしれないこの地の桜は、また違った
趣をみせるかもしれません。

弊社のある早稲田の街について書こうとしましたが、期せず
して、漱石と浸食地形、そして桜の話になってしまいました。

早稲田大学や、その学生の巨大な胃袋をささえる良心的な
定食屋、飲み屋の数々など、他にもこの街に関してお伝えし
たいことはあるのですが、そろそろ紙幅が尽きるようです。私
の取り留めのない話しにお付き合いくださいまして、ありがとう
ございます。



都電荒川線面影橋



江戸川橋からさくらを臨む

外国人に
おすすめの

Books on Japan

第3回

チャールズ・イー・タトル出版
花井 陽子

おりがみ (前篇)

3歳の娘と折り紙で遊ぶようになりました今日この頃です。つい気を抜くと映像に子守をさせてしまうのを反省し、何か一緒に手軽に出来る遊びとして、折り紙を選びました。図を見てその通りに折るのはまだ難しいものの、教本をみてはこれを折って!と、折っているのを見るだけでも楽しいようで、飽きずに(親が)折られ続けています。それでもその後放っておくと、紙をくるくる巻いて、「みて!アイスクリーム!」と言っている姿を見るのは、微笑ましいものでした。たった1枚の紙から無限大のものが作れる、というのを学ぶのは子供にとっても心躍る体験となつてほしいと思ひながら、私自身もおりがみを再体験しています。というわけで、今回は「おりがみ」をテーマに紹介していけたらと思います。

突然ですが、タトル出版は「東洋と西洋の架け橋となる書籍の出版」を事業の理念に掲げております。その理念のもと、日本文化関連書籍、歴史書や文学、写真集、語学書などを出版しているのですが、その中でも「クラフト」を重要な柱の一つとみなしています。つまり、「工芸 (Arts & Crafts)」を通じてこそ、その国の文化の神髄を理解・体験することが出来ると考えているのです。「工芸」というと堅い印象を与えるかもしれませんが、書店では「趣味・実用」に分類されるもので、最近ですと、フェルト系のクラフト(動物ぼんぼん)といったトレンドものも刊行予定ですし、弊社では初となる日本の編み物の図案集も出版しました。また日本のラッピング、あるいは風呂敷などで「包む」技術も外国では新しく感じられるようで、人気タイトルの一つです。そして、このジャンルの中でもロングランで扱っている弊社の定番タイトルが「おりがみ」なのです。

実際、おりがみはアメリカでは特に人気のタイトルなのですが、日本の書店にとっては扱づらいものかもしれません。弊社のおりがみは、様々な模様の「Origami Paper」からテーマで楽しめる箱入りおりがみセット「Origami Kit」を毎年、幅広い種類の点数を出版しているのですが、洋書の限られた狭き棚にとってはかさばりやすく、次々とする新刊の波に押されては、返品という波に淘汰されがちな商品となっています。また、Books on Japan 向けおりがみの商材は他社でも多く出版されているため、少なからずオンジャンパ棚では「飽き」の分野であるかもしれません。それで

も蓋を開けてみると、折り紙の世界は奥深く、あらゆる創造の原点に通じるものを感じられます。

サム・イタ (Sam Ita) というポップアップ絵本の作家は、幼少期から折り紙に魅せられ、折り紙の経験が現在の制作のインスピレーションになっていると述べています。「おりがみはすべての芸術家たちと関係するものである」と表明する彼は、ミケランジェロが彫刻は大理石に閉じ込められたイメージを解放することであるという表現に、おりがみにも通じるものがあるとも見えています。大理石から生命溢れる像が生まれ、一枚の紙が鶴や蝶、亀や鯉などの有形物へとメタモルフォーゼするのは魔術的でもあり、感動の体験でもあります。

折り紙の歴史を見てみると、発祥は中国ですが、折り紙が発展の道を辿ったのは日本であり、社会の中でも不可欠な役割を果たしていました。また折り紙の歴史は紙の歴史と同じくらい古いと言われていています。日本に正式に紙の製造法が伝来したのは610年といわれていますが、それは仏教と結びつくものでした。紙は写経に使われていましたが、当時は稀少で高級品であった「紙」は「神」と密接に結びついていました。「熨斗(のし)」や相撲で見る「御幣(ごへい)」は神事と結びつく折り紙といえるでしょう。江戸時代になり、紙が民衆レベルでも享受されるようになり、紙は「おりがみ」という「遊び」へと展開していきました。と浅学ながらも折り紙の歴史を紐解いてみると、知らなかった日本の文化と歴史が色々出てくるようです。

さて、タトル出版営業部ではそんな折り紙をどのように「売る」かを考えなくてはならず、私自身ずっと頭を悩ませてきました。おりがみを折ることで論理的・空間的思考力を養う、おりがみを折ることで禅の境地を味わう等、様々なそれっぽいアピールポイントを考えてきましたが、やはり「遊び」に尽きるものである、というのが最近の結論です。

日本人であるなら誰もが子供の時に遊んだことのある折り紙を再体験してみませんか?中国から日本へ、そしてアメリカへと広がっていったおりがみの様々な現在の姿を是非、今回のこのコラムで紹介していきたく思います。

海外出張・海外見本市の視察を全力サポート！

海外出張・見本市の手配は、ジェイワールドトラベルにお任せください！
“専任のスタッフ”が決め細やかなサービスで快適な旅をお手伝いいたします。

FRANKFURT BOOK FAIR

2018年10月10日～10月14日

>>>> 予約受付中 <<<<

10月9日(火)出発 航空券(直行便利用) + ホテル手配 <モデルプラン>

- ① **HOTEL A&O FRANKFURT GALLUSWARTE (★★)**
<最寄り駅 (GALLUSWARTE) まで徒歩約3分。見本市会場までSバーンにて1駅。>
旅行代金：4泊6日 ￥230,000 (一人部屋追加代金 ￥56,000)
- ② **MERCURE HOTEL KAISERHOF FRANKFURT CITY (★★★★)**
<フランクフルト中央駅近くに位置し、見本市会場まで徒歩約15分。>
旅行代金：4泊6日 ￥255,000 (一人部屋追加代金 ￥80,000)
- ③ **NOVUM HOTEL CITY STAY FRANKFURT (★★★)**
<フランクフルト中央駅から徒歩約5分。見本市会場まで徒歩約10分。>
旅行代金：4泊6日 ￥260,000 (一人部屋追加代金 ￥85,000)
- ④ **SAVIGNY HOTEL FRANKFURT CITY MESSE (★★★★)**
<フランクフルト中央駅、見本市会場どちらにも徒歩約8分。>
旅行代金：4泊6日 ￥275,000 (一人部屋追加代金 ￥100,000)
- ⑤ **MONOPOL (★★★★)**
<フランクフルト中央駅近くに位置し、見本市会場まで徒歩約15分。>
旅行代金：4泊6日 ￥285,000 (一人部屋追加代金 ￥110,000)
- ⑥ **INTER-CONTINENTAL HOTEL FRANKFURT (★★★★)**
<フランクフルト中央駅から徒歩約5分。見本市会場まで徒歩約20分。>
旅行代金：4泊6日 ￥289,000 (一人部屋追加代金 ￥114,000)
- ⑦ **NH COLLECTION FRANKFURT CITY (★★★★)**
<フランクフルト市内中心に位置し、見本市会場までUバーンにて約15分。>
旅行代金：4泊6日 ￥295,000 (一人部屋追加代金 ￥120,000)

※詳細はパンフレットをご確認ください。

上記以外にも、ジェイワールドトラベルでは、お客様のニーズに合わせた旅行手配を承ります。
お問い合わせからご帰国までをサポートし、ベストなプランをご提案いたします。

お問合せ・旅行手配



JATA正会員／観光庁長官登録旅行業 第1359号

株式会社ジェイワールドトラベル

お問合せ

Tel 03-3402-9955

〒107-0062 東京都港区南青山2-5-17 ポーラ青山ビル6F
URL www.jw-trvl.co.jp/ Email tet@jw-trvl.co.jp 担当: 藤代

日本洋書協会会報 vol.52 No.4(通算553号) 発行日2018年6月1日 編集者 遠藤 尚子

発行所 日本洋書協会 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-13 (株)MHM内 TEL 03-3518-9631 FAX 03-3518-9523
URL:<http://www.jaip.jp> E-mail:office@jaip.jp